

飯舘村長泥地区環境再生事業運営協議会（第3回）  
議事要旨(案)

日 時	平成31年1月24日（木）13:00～15:30（飯舘村長泥地区実証事業地現地視察） 15:30～17:00（飯舘村長泥地区環境再生事業運営協議会）		
場 所	飯舘村長泥地区実証事業地、 飯舘村役場2階第1会議室		
出席者	委 員	飯舘村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯舘村 副村長</li> <li>・飯舘村農業委員会 会長</li> <li>・飯舘村長泥行政区 区長</li> <li>・飯舘村長泥行政区 副区長</li> <li>・飯舘村長泥行政区</li> <li>・飯舘村長泥行政区</li> <li>・飯舘村農業有識者</li> </ul>
		学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO放射線安全フォーラム 理事</li> <li>・飯舘村復興アドバイザー</li> <li>・東京大学大学院農学生命研究科 教授</li> <li>・農業・食品産業技術総合研究機構</li> </ul>
	事務局	飯舘村 環境省 三菱総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>門馬 伸市</li> <li>菅野 啓一</li> <li>嶋原 良友</li> <li>嶋原 新一</li> <li>嶋原 清三</li> <li>杉下 初男</li> <li>菅野 元一</li> </ul>
	傍聴者	復興庁（福島復興局） 福島県（生活環境部・中間貯蔵施設等対策室） 除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合 サンコーコンサルタント アジア航測	<ul style="list-style-type: none"> <li>多田 順一郎</li> <li>田中 俊一</li> <li>根本 圭介</li> <li>万福 裕造</li> </ul>
議事要旨	<p>○飯舘村長泥地区実証事業の現地視察を実施した。</p> <p>○事務局より飯舘村長泥地区環境再生事業運営協議会（第2回）での指摘事項とその対応について説明を行った。</p> <p>○事務局より飯舘村長泥地区環境再生事業に係る技術検討ワーキンググループ（第1回）の結果について説明を行った。</p> <p>○事務局より飯舘村長泥地区における試験栽培について説明を行った。質疑応答により、以下の点が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウス栽培について、現在育成している資源作物に加えて食用作物を作付けする対応が可能か実施に向け検討すること。</li> <li>・食用作物など地元住民が希望する作物を栽培するためには、現在のハウスではスペースが足りないため、ハウス栽培等のエリア拡大について実施に向け検討すること。</li> <li>・試験栽培に使用する水に関して、長泥地区内の近接の水の使用について実施に向け検討すること。</li> <li>・再生資材、覆土材、堆肥、栽培に使用する水等の放射能濃度の測定値や化学分析値のほか、空間線量率等のモニタリング結果について、具体的な数値を資料に取りまとめたうえで提示すること。</li> <li>・飯舘村や地元住民の意向を踏まえながら、長泥地区の復興再生拠点整備が円滑に進むよう事業の実施に向けて検討を進めること。</li> </ul> <p>○事務局より再生資材化施設について説明を行った。質疑応答により、以下の点が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培実証エリアの整備について、地盤改良や排水方法等を含めた設計を早期に提示すること。</li> <li>・実証事業用の再生資材化施設について、再生資材化の処理能力や必要量等の具体的</li> </ul>		

な数値を示すこと。

- ・飯舘村及び環境省は、地元住民の意見を踏まえ、関係省庁とも連携しながら、将来的な飯舘村長泥地区全体の環境再生事業計画について具体化を図ること。

以上